

平成20年10月30日

各 位

上場会社名 高砂鐵工株式会社
 代表者 代表取締役社長 吉田 保
 (コード番号 5458)
 問合せ先責任者 経理部長 畑田 正樹
 (TEL 03-5399-8111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年7月30日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,500	△150	△250	△950	△31.61
今回発表予想(B)	16,950	△57	△102	△772	△25.71
増減額(B-A)	△550	93	148	178	——
増減率(%)	△3.1	—	—	—	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	18,892	726	654	333	11.10

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,000	△100	△150	△450	△14.97
今回発表予想(B)	12,300	△53	△112	△396	△13.18
増減額(B-A)	△700	47	38	54	——
増減率(%)	△5.4	—	—	—	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	13,422	566	504	270	9.00

修正の理由

(個別業績予想)

当社グループの主要事業である鉄鋼製品事業において、ステンレス部門で主原料のニッケル価格の低落傾向が止まらず、買い控えにより販売数量が想定以上に落ち込み、売上高が前回発表の予想を下回るものの、みがき帯鋼部門で原料価格ならびに製品価格が上昇する中、工場移転に備える在庫積増も含めた在庫評価益により、損失額が前回発表予想に比し縮小する見込みとなりました。

(連結業績予想)

個別の業績修正理由に加え、モーターサイクル関連部品事業において、受注が前回業績予想時の見込ほど落ち込まなかったこと及び諸経費圧縮によるコスト削減に努めたため、損失額が前回発表予想に比し縮小する見込みとなりました。

なお、通期の業績予想(連結・個別)につきましては、国際金融市場の混乱に端を発して、鉄鋼製品事業・モーターサイクル関連部品事業ともに事業環境の先行きが不透明となり、業績の下振れ懸念があるものの、不確定要素が極めて大きいため、見通しがついた時点で速やかにお知らせいたします。

[業績予想に関する留意事項]

本資料における予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

以上